

《絵本リスト》

絵本名（作者/出版社）		内 容
	ペンギんたいそう 作/齋藤 楨 (福音館書店)	腕を振ったり、ジャンプをしたり。シンプルな動きは、子どもたちがすぐにでも真似できそうなものばかりです。綺麗な黄色の背景に、黒と白のペンギンのコントラストが赤ちゃんの目を引きます。
	ぎゅう ぎゅう ぎゅう 文/おーなり由子 絵/はたこうしろう (講談社)	ふっくりしたほっぺや口、柔らかそうな髪の毛。明るい色調と柔らかな筆遣いで愛らしく描かれた赤ちゃんの表情から、身近にいる大好きな人や物と「ぎゅう」をする嬉しさが伝わってきます。赤ちゃんと「ぎゅう」をすると、ふれあい遊びにもつながる絵本です。
	だるまさんが 作/かがくいひろし (ブロンズ新社)	だるまさんの次の動きへの期待感と、ユニークな展開。シンプルな絵と繰り返しのリズムが、赤ちゃんの心をくすぐります。「だるまさんが・・・」と溜めて読んだり、テンポを変えたり。色々な読み方が楽しめて、声を出して笑いあえる絵本です。
	④ぎったん ばっこん 文/なかえよしを 絵/上野紀子 (文化出版局)	動物たちが小さい順にシーソーに乗り、重さが変わるとシーソーが上下します。動物たちの表情からは、シーソー遊びの楽しさが伝わってきます。赤ちゃんをひざに乗せ、「ぎったん ばっこん」のリズムに合わせて親子で身体を動かしながら楽しめる絵本です。
	はらぺこあおむし 作/エリック・カール 訳/もりひさし (偕成社)	食べることで大きくなることは、子どもの生活そのもの。小さな幼虫がたくさん食べて成長し、最後に見事な蝶となる姿が、子どもたちの共感呼びます。あおむしが食べた部分にまるい穴が開いています。穴に指を入れたり、ページをめくったりして遊ぶこともでき、絵本に親しむきっかけにもなります。
	いない いない ばあ 文/松谷みよ子 絵/瀬川康男 (童心社)	「いないいない・・・」ページをめくると、ネコ、クマ、キツネたちが「ばあ」と顔を見せます。語りかけの言葉は赤ちゃんの耳にやさしく届き「いないいないばあ」のくり返しは自然と遊びにつながります。世代を超えて長く愛されている絵本です。